

協議会（音楽・美術・保健体育・家庭科）報告書

文責：研修部（石崎）

1 授業反省・交流に関して

【音楽】

生徒たちも初めての取り組み。曲全体のイメージはつかめた。歌う時間がなかったことが課題。

【美術】

単純化するピクトグラムをもともと単純化した図形からつくっていくという実験をした。思った以上に生徒はよく考えてくれた。

【体育】

（元木）：跳び箱。これまでに2回やったが怖いという生徒が多かった。見本を見せたら食いつきがよかった。先生の補助ゾーンに人が殺到。話し合いは盛り上がった。習熟度別での課題と意見交流ができればよかった。意欲は見られた。

（中下）：2年の内容を発展させてやった。尾道駅付近でどんな人にAEDをとってきてもらうかなど考えた。さまざまな状況を想定して話し合いができた。導入で動画を見せたので意識付けできた。時間が足りなかったのが課題。

【家庭科】

導入で動画を見せたが、先生たちがでてきたことに沸いて話が聞こえず2回見せることになった。身近な人のためにということで一生懸命にやってくれた。他の班に質問をする時間をとったが、時間が足りなかった。導入をもっとコンパクトにすればよかった。

2 指導者による指導・助言に関して

- ・生徒がよく動く。3年間ですごく育っている。話し合い活動に全員が参加できるかが問題だが一生懸命参加する。先生に対して協力的。生徒たちの発想を大切にしたい。
- ・主体的な学び・探究活動について。教え合いだったらどうなるのか？コミュニケーションをとって教え合いができるか？自分たちが主体になって考えている。楽しんで考えている様子が見られる。個人思考→集団思考OK。
- ・1時間の授業にどれだけの準備をしているか？授業構想を持たなければならない。この時間でここまでやっちゃろうと意識して授業する。自分（教師）が楽しいと生徒も楽しい。自分が楽しくないと生徒も楽しくない。そこを考えて授業するべき。
- ・体育・・・習熟度別でも安心安全を考えなければならないのが大変難しい。
- ・グループ内で何もしない生徒をつくらない工夫。話し合い活動を3年間積み重ねていった時が楽しみ。
- ・生徒との距離感。同じ目線にたったほうがいい時もある。どういう距離感・関わり方がよいのか見抜く力。先生は先生としてプロ意識を持つ。そのためには切磋琢磨・研究をしていく。他の先生の良いところを真似する。
- ・生徒聞くだけでなく、見る、やってみるという活動も必要。
- ・話し合い活動でコミュニケーション能力なども育っていく。
- ・生徒たちは先生の期待に応えようとしてくれている。こちらもそれに応えなくてはいけない。